

今日はね。

vol.16

漫画  
です。

エ  
ツ  
セイ

これ  
は

今日はね。

vol.16

漫画です。  
エッセイ  
これは



# 行って 来ました。 コミケ編②

コミケ初心者は  
午後入場が  
おすすめと  
聞いていたので

私は午後  
に行きました！

午前中は  
戦場  
だった

今回は  
会場の目的だしね...

熱中症に

負けない！！

買い物の場合は  
早い時間じゃないと  
売り切れちゃうみたい！

交通手段は  
電車  
人の乗車は  
駅によって  
まちまち

よしく！  
りんかい線！！

あれ！  
余裕で  
座れた！

しかし目的の地が  
近づくにつれ  
確実にあがる  
乗車率...

あれ...?  
混んできた  
かな...?

# そして 降車！



確認して  
ないけど解る...

こみ上げる不安...

私ちゃんこ  
帰れるかな...

9割以上  
ここで  
降りてる!!!

そして私も  
降りる。

行つて  
きました。  
コミケ編③

夏ということで  
熱中症を心配して  
おりましたが

当日は曇り



ビギナーには  
とつても  
ありがたい  
天気でした

駅からはもう  
人の流れが  
決まっていたので

流れに身を  
まかせて  
移動します



道中周囲を  
見ると何やら  
貼り紙が



その数分後



あ...あり  
なの?

熱中症  
予防には  
一役かうかも  
だけど...

ええ?  
でも...

いっしょん!!!

※よく考えなくてもアウトかと思われれます。

行って  
来ました。  
コミケ編④

無事に会場に  
着きましたが  
買い物目的で  
ない自分が  
購入すべきものが  
一つあります！

カタログ  
です！



コミケの  
カタログは  
コミケのすべてが  
集約された  
冊子のこと！

最近では電子版も  
ありますし  
事前に書店等で  
購入もできます



私は当日会場で  
購入しましたが  
サークル配置に  
注意事項  
地図に意見に  
インタビュアーから  
マナーまで！  
熟読必須の  
一冊です！

まさに最初の  
ミッションとも  
言える  
カタログ購入！

お金を準備し  
列に並びます

そして  
いよいよ

カタログが  
私の手に…



え!?

タオン  
ページ!!?



行って  
来ました。  
コミケ編⑤

予想をはるかに  
超える重量の  
カタログを  
入手し建物内へ！

中は人が  
いっぱいです！

…これは  
立ち止まったら  
迷惑になる  
レベルだな…



ここから  
さらに人波に  
のって進みます

たぶん  
こつちだ  
…!!

ぞろぞろ

それらしい場所に  
たどり着きました

おー  
机がいっぱい  
だー!!

人も多  
いから  
それ  
は  
嫌  
だ



まずは  
カタログを  
開けそうな  
所に行こう…

通路はダメだし…  
出入口や非常口前も  
ダメだし…  
うーん…

結局何も  
ない  
壁際に身を  
よせました

えーと…  
作家さんの  
サークルは…

割とこつから  
近いみたい…

こつから  
こー行って  
あー行って…  
つまり…



人の壁  
回避の  
道は無し。

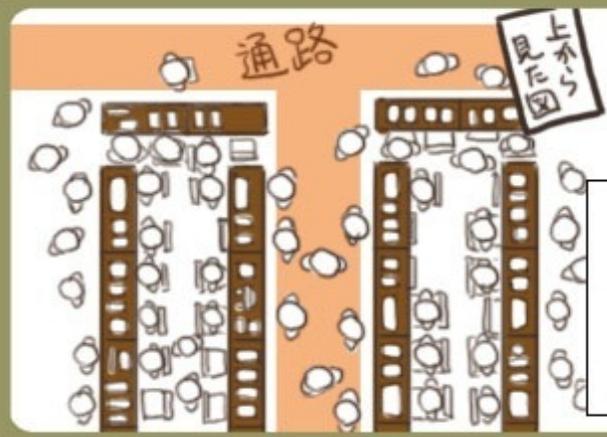
…お  
かたはる!!



行って  
来ました。  
コミケ編⑥

人の壁といつても  
実は空いていた方  
だったと後に  
気づくのですが

通路は  
こんな感じ  
でした。



通路としては  
充分な幅が  
あったのですが

それでも  
荷物同士が  
ぶつかってしまう  
事がありました

皆基本的に 特に大きな  
自分の目的に 意識しているの  
でどうしても 注意が落ちぎみ。

相手が  
気づかない  
程度のも  
のものが  
ほとんど  
でしたが...



カバン  
あてちゃった!

すみませんっ!

あぁ...  
いえっし  
あの私も  
ぶつ  
ちやっ  
て...  
すみ  
ません



電車では足ふまれても  
無言かあるの...

あれが  
紳士か!!!



# 行って 来ました。 コミケ編⑦

その後無事  
作家さんと  
会えました



ずっとスペース前で  
話し込むのも  
悪いので

作品を一度  
預けて批評を  
頂きました

スペースには購入したい人だけでなく  
交流したい人も来るので  
長時間話し込むのはサークルにも  
参加者にもご迷惑になるらしい。



批評が  
頂けたことは  
もちろんですが  
直接会えたのが  
一番うれしかった  
です!

自分の制作で  
良い報告が  
出来なかつたのが  
残念ですが  
次回こそは!  
と思いました。



初参加で  
マナー違反とか  
しちゃってないか  
心配な気も  
していますが

とても刺激的で  
元気になれる

私の初コミケは  
そんな素敵な  
1日でした!



行って  
来ました。  
コミケ編⑧

作家さんとお話してる時

スペースには何人も参加者がいらしたのですが

あふれ出てる弱者。

すごい聞かせてしまっただけじゃなかったスミマセン

そこでも良マナーな一面が!



試し読み用にスペースにはサンプルが置いてあったのですが

それを読む際ほぼ100%口にされていたセリフが...

「拝見してもよろしいですか?」

でした!

他には「拝見します」「拝見させていただきます」など皆本当に丁寧!!



このセリフ! コミケのマナーを一番実感した場面でした!

すごいよ! コミケマナー!

コミケにはお客さんはいないんだ!

※コミケは「全員参加者」という考えの基行われてるとい話を聞いたことがあります。



帰り道は感動しながら自分のマナーを振り返りました

過去別イベントでマナー違反しちゃったことあるの...

気持ちだけの問題じゃないですね

参加する為そのイベントを続けていく為

他人事じゃない ↓マナー大切が はつきり見えた気がしました



行って  
来ました。  
コミケ編⑨

会場で某艦隊  
擬人化ゲームの  
提督のコスプレを  
している方々を  
見かけました

提督が

いっぱいー！

おあ、

あれ  
コスプレ  
だよな？

本物みたい！  
かつこいいい！

!?

何も知らず  
見かけたら  
本職と信じそうな  
レベルでした

暑くても長そで!!  
小物もしっかり  
つけてた!!

帽子

手袋

作りに  
すばらしい!!

いい感じに  
お事もめいめい!!

心なしか  
姿勢も  
良い!!



制服の魅力を  
実感しつつ  
歩いていると

道すがら  
別の提督を  
発見!

! おや?  
あっちにも...

しかし  
見てすぐ

嘘つけい!!!

提督。

私さっき  
本物一  
みたもん!!  
これだって  
本当は違う。

...と思つて  
しまった。

行って  
来ました。  
コミケ編⑩

感動を胸に  
帰路についた  
私ですが

駅までの  
短い道にて  
大道芸が  
いくつか公演  
していました



せつかく外出  
したのでと  
足を止めて  
みました



私のみた  
芸人さんは  
関西から  
いらしたとの  
ことで

「○○(お笑い  
芸人)」にこの技  
教えたの  
僕なんですよー  
…と話して  
いたのですが

お客さんの  
反応は薄く



しかしさすが  
ご職業  
反応は薄くとも  
ドンドン喋る!



コミュカ  
抜群!!!  
眩しいぜ!

そんな中で  
印象深かつた  
ものをいくつか  
ご紹介

写真とか撮って  
ツイッターに  
あげるの全然  
おつけーよ!  
報告とかも  
無くていいよ!

自力で  
探すから!



すごい力強かった!!

行って  
来ました。  
コミケ編⑪

これまでに  
ないくらいに  
ポジティブな  
エゴサーチ  
宣言に続き

芸と軽快な  
トークが  
続きます

ゴアポロモ  
していましたよ。

俺アニメ  
好きなん  
ですよー♪

いやーわ  
すこいわ

でも仲間内で  
アニメ好きなの  
僕だけでねー

アイ○スの  
話とか中々  
できないん  
ですよー

じつはこの  
髪型も  
ハガ○ンの  
真似してるん  
ですよー

ただどあんま  
わかってもらえ  
なくてー…

あー！  
うなぎい  
くれるの!?

「何それ  
ラーメン○ン?  
とか言われる…」

何とも  
言えない  
表情…。

アニメ好きじゃ  
ない人に  
「違うよー」って  
説明もしづらい  
よね…

かーって  
ラーメン○ン  
思われるのも  
七よこ…

わかるよ！  
わかるよ！

この瞬間お客さんが  
芸人さんにやさしく  
なった気がする。

つまり  
どうしたかと  
言いますと

拍手に気合い  
込めました。

今日はね。 vol.16

<http://p.booklog.jp/book/93775>

著者：童

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hagurumawarashi/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/93775>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/93775>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ